

妙智會

10月28日 本部供養会
本部本殿(ライブ配信)
宮本法嗣先生ご指導Vol. 77
2022. 11. 17
1/2

本日は「三毒」についてお話をさせていただきます。

この三毒について、お釈迦さまは「煩惱を作るのは三毒です」と説かれております。

今日は三毒の中から「愚痴」についてお話を致します。

愚痴とは元々の佛教における三毒の中の「愚痴」と、私たちが普段使っている「グチ」とは別の物とされていますが、会主さまから「同じような言葉を使うという事は、目に見えない根柢には繋がるのです」と私は頂戴しました。

愚痴というのは「無明」、つまり真実がわからない、愚かなことをするという意味があり、言った方も聞いた方もお互いに「無明」になって真実が見えなくなり、誤った考えを持ってしまうのです。

よく会主さまは「愚痴をこぼすということは相手をかき回す事です」と仰っておりました。

しかし、愚痴を言うのをやめようと言っても、なかなかできませんが、愚痴を言った最後に「今日もあなたに愚痴をこぼしてしまいごめんなさい。聞かなかった事にしてね」とここが大事です。

今日までどれ程愚痴を言ってきたか、そして相手をかき回してきたか、しっかりと反省を込めて受け止めなければなりません。

支部もそうです。支部長という名前に「長」とついた人が、愚痴

や愚かな考えを持ってしまうと、皆の為の代表という事を忘れて、「私の支部」と思ってしまうのですね。

会主さまも大導師さまも「信者さんの代表が私です。ですから懺悔も代表して私がさせていただきます」と仰っておりました。

幹部や役員さんを含めて、信者さんの代表であり、代表だからこそ信者さんの全ての責任を持つ事が肝要です。

全て信者さんがいてくださっているお陰様なのです。

支部も含め、「自分のもの」として絶対に見てはいけないのです。

他の支部の信者さんが救いを求めていたら、救ってあげればいいのです。そこに境はありません。

そして、困った時は、本部へ行って皆でどうしようかと一緒に悩む事が大切であり、その支部だけの悩みではないのです。

そして支部の信者さんの悩みは私の悩みでもありますので、私に全て話してください。

皆で手を取り合いながら、幸せになりましょう。

プライドを捨てて、笑顔で素晴らしい教団にしてください。